

全国健康保険協会長崎支部 第2期データヘルス計画

平成30年度版

平成30年7月19日現在



全国健康保険協会 長崎支部
協会けんぽ

目 次

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. データヘルス計画の概要 | P2 |
| 2. データヘルス計画のための基本分析 | P6 |
| 3. データヘルス計画のための基本情報 | P12 |

データヘルス計画について

データヘルス計画とは・・・

協会けんぽが保有する加入者の皆さまの医療費の情報と健康診断の情報を分析し、健康づくりや疾病予防、重症化予防等を行う事業です。データを有効活用して効率的・効果的な計画の立案と実施をPDCAサイクルで行います。

Plan (計画)

データ分析に基づく
事業の立案

- ・健康課題、事業目的の明確化
- ・健康課題の解決に資する事業の選択
- ・目標及び評価指標の設定

Act (改善)

次サイクルに向けて
修正

Do (実施)

事業の実施

(例)

- 加入者に対する全般的、個別的情報提供
- 特定健診・特定保健指導等の健診・保健指導
- 重症化予防

Check (評価)

評価指標で目標達成
の成否を確認
達成の成否の要因分析

データヘルスが始まった背景

将来の生活習慣病を防ぐため、つまり5年後10年後を見据えた健康づくりを始めるために、このデータヘルス計画が、国を挙げてスタートしました。

今までになかった「医療機関の受診データと健康診断データを突合し分析する」ことで、効率的かつ効果的な保健事業が期待されます。

協会けんぽだけでなく、各健康保険組合、共済組合等各々が計画・実施していく取り組みです。

協会けんぽ長崎支部の第2期データヘルス計画

第2期データヘルス計画の期間は平成30年度から平成35年度までの6年間です。保健事業の方向性を明確にするために、長崎支部の加入者の方の健康課題等を踏まえて、目標を設定します。なお、目標の設定レベルにより位置づけが変わり、10年程度先に成果を評価する目標を上位目標、6年後に達成すべき目標を中位目標、上位・中位目標を達成するための下位目標とします。

健康課題

- ・ 高血圧リスク保有者が多い=服薬の有無に関わらず高血圧（ $\geq 160/100$ ）が5.21%（H28年度 生活習慣病予防健診受診者 93,435人中4,871人）
 - ・ 空腹時血糖が高い人の割合が増加傾向である（H27年度特定健診データ 空腹時血糖 ≥ 100 ：男45.0%【+0.76】女23.9%【+0.67】空腹時血糖 ≥ 126 ：男9.0%【+0.54】女3.1%【+0.55】）
 - ・ 喫煙者の割合が多い（H27年度特定健診データ 男45.8%【+0.94】女13.8%【-1.04】）
 - ・ 20歳から10キロ以上体重増加した人が多い（H27年度特定健診データ 男46.3%【+0.27】女28.4%【+0.66】）
 - ・ 初診で心臓カテーテル検査を実施したレセプトのある患者（H28年度114人）のうち、健診未受診者は57.9%（66人）だった
 - ・ 初診で心臓カテーテル検査を実施したレセプトのある患者のうち、60歳未満の患者は43.9%（50人）だった
 - ・ 特定健診受診率が47.6%と全国平均50.1%に満たない（H28年度実績）
- ※ 【】内はZスコア

上位目標

35歳以上の被保険者の虚血性心疾患発症率を平成28年度0.06%から0.05%に改善させる。

中位目標

Ⅱ度高血圧以上の対象者の割合を平成28年度5.2%から5.0%以下に改善させる。

下位目標

- ① 受診率向上事業
特定健診の受診率を65%にする。
- ② 特定保健指導事業
特定保健指導実施率35%にする。
- ③ 重症化予防事業
Ⅱ度高血圧以上の対象者の収縮期血圧平均値を下げる（平成28年度収縮期血圧平均162.6mmHg）。
- ④ 「健康経営」宣言事業の普及啓発事業
「健康経営」宣言事業所を毎年度、50社増やし、健診受診率と特定保健指導初回面談率を向上させる。

下位目標に関する事業概要と具体策

① 受診率向上事業

下位目標	概要	具体策	アウトプット評価 (*)	アウトカム評価 (*)
特定健診の受診率を65%にする。	健診未受診者等に対し、DM、電話、訪問、広報による受診勧奨を実施する。	健診機関と連携し、健診促進経費を活用した生活習慣病予防健診の促進を図る。	特定健診受診率 65.0%	Ⅱ度高血圧以上の割合 5.0%以下
		長崎県と連携し、「職場の健康づくり応援事業（生活習慣病予防健診受診勧奨及び事業者健診データ取得勧奨）」を実施する。		
		労働局等と連携した事業者健診結果データ取得勧奨を行う。		
		市町と連携したがん検診と特定健診の同時実施案内を行う。		
		協会主催の集団健診（特定健診）の実施する。		
		メディアを活用した生活習慣病予防健診及び特定健診の受診勧奨を行う。		

(*) アウトプット評価（事業実施量）とは、目的・目標達成のために行われる事業の結果に対する評価
 アウトカム評価（結果）とは、事業の目的・目標の達成度、成果の数値目標に対する評価

② 特定保健指導事業

下位目標	概要	具体策	アウトプット評価	アウトカム評価
特定保健指導実施率を35%にする。	外部委託機関による特定保健指導による実施率向上を図る。	外部委託機関の勧奨を実施し、機関数の増加を図る。	委託機関数 25機関	保健指導改善率 35.5%
		外部委託機関の実施状況等について進捗管理を行う。	委託による保健指導実施率（被保険者） 16.4%	
		研修会等において外部委託機関の専門職の質の向上を図る。	研修会への参加率 85%	
	協会けんぽ所属の保健師・管理栄養士による特定保健指導実施率向上を図る。	幹部職員との事業所訪問により特定保健指導受け入れ勧奨を行う。	特定保健指導初回面接数 6,000人	
		研修会等において、協会けんぽ保健師・管理栄養士の質を向上させる。	研修会計画・評価の振り返り 6回	
		効率のよい訪問スケジュール調整を行う。	協会保健師による保健指導実施率（被保険者） 19.5%	

各事業の概要と具体策

③ 重症化予防事業

下位目標	概要	具体策	アウトプット評価	アウトカム評価
Ⅱ度高血圧以上の対象者の収縮期血圧平均値を下げる。 (平成28年度収縮期血圧平均162.6mmHg)	Ⅱ度高血圧以上の方で、治療を受けていない方に対する受診勧奨を行う。	健診受診者に対する高血圧に対する周知を行う。	健診から9か月後の受診率 13%	Ⅱ度高血圧以上の対象者の収縮期血圧平均値を下げる
		事業所訪問により、面接による保健指導を実施する。		
		文書による受診勧奨を実施する。		
		電話による受診勧奨を実施する。		
	空腹時血糖126mg/dl以上の方で、治療を受けていない方に対する受診勧奨を行う。	Ⅲ度高血圧以上の重症な方の、受診の徹底を図る。	健診から1年後の受診率 60%	
		事業所訪問より、面接による保健指導を実施する。	健診から9か月後の受診率 13%	
		文書による受診勧奨を実施する。		
	ハイリスク者への対応を行う。	電話による受診勧奨を実施する。	実施人数 20人	
		糖尿病性腎臓の関わりによる重症化予防を行う。		

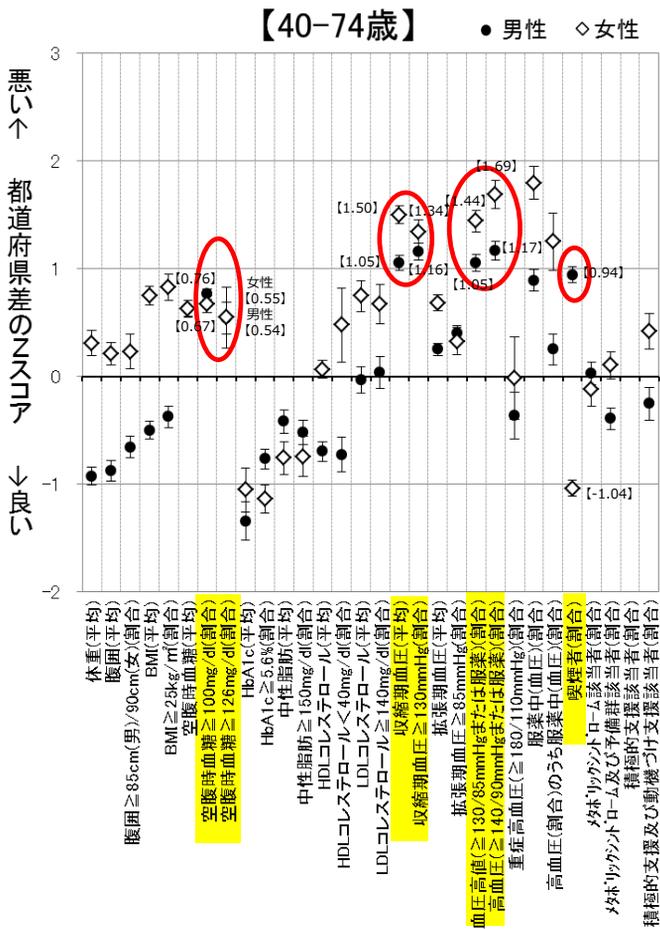
④ 「健康経営」宣言事業の普及啓発事業

下位目標	概要	具体策	アウトプット評価	アウトカム評価
「健康経営」宣言事業所を毎年度、50社増やし、健診受診率と特定保健指導初回面談率を向上させる。	「健康経営」宣言事業の普及啓発を行い、宣言事業所を毎年度、50社増やす。宣言事業所は、「健康経営」に取り組み、健診受診率80%以上と特定保健指導初回面談率50%以上を目指す。	被保険者30人以上の事業所（1,600社）に「健康経営」宣言事業への登録案内を送付する。	毎年度、宣言事業所数 50社	<ul style="list-style-type: none"> 宣言事業所の50%以上が健診受診率80%以上 宣言事業所の40%以上が特定保健指導初回面談率50%以上
		被保険者30人以上の事業所（1,600社）に対して「健康経営」宣言事業への登録に向け電話・訪問による勧奨を行う。		
		全事業所（21,000社）への支部広報誌に「健康経営」宣言事業の募集記事を掲載し、登録勧奨を行う。		
		長崎県の全世帯広報誌「つたえる県ながさき」（52万部）に「健康経営」宣言事業の募集記事を掲載し、登録勧奨を行う。		
		宣言事業所の独自の取組み等をサポートし、健診・保健指導の勧奨を併せて実施する。	宣言事業所すべて	

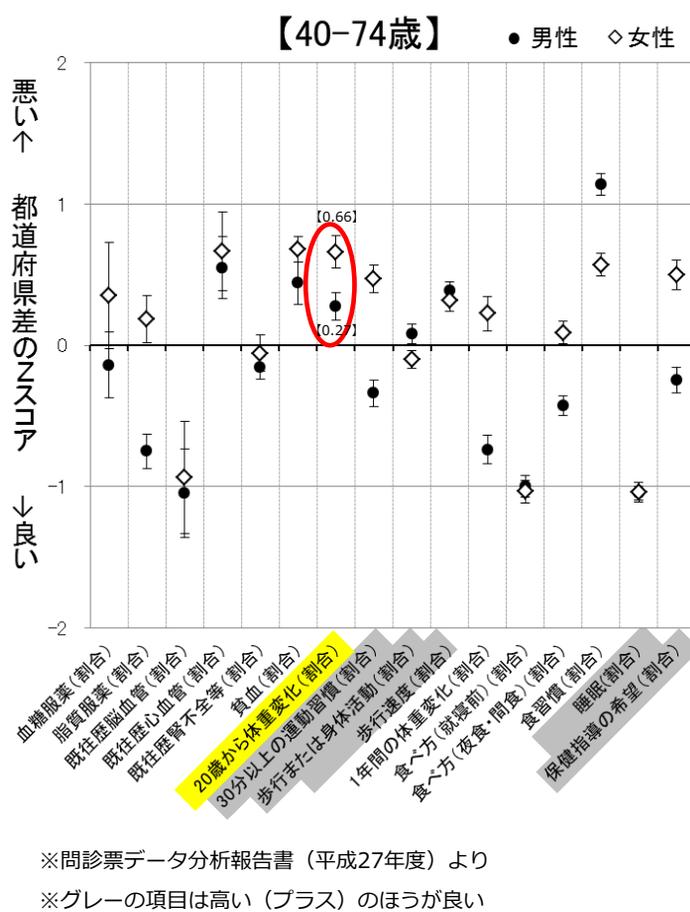
健診結果・問診票による長崎支部の特徴の要約

健診結果における長崎支部の特徴は、高血圧リスク保有者が多い（Zスコアが悪い）ことです。また、空腹時血糖が高い方の割合も増加傾向となっています。問診票においては「20歳から10キロ以上体重が増加した」割合が高いことがわかります。

健診支部別特徴の要約(Zスコア)



問診票支部別特徴の要約(Zスコア)



Zスコアとは・・・？

縦軸の値(都道府県差のZスコア)は、いわゆる偏差値のような指標であり(ただし、値が大きいほど悪いことを意味する)、おおよその解釈は以下の通りです。

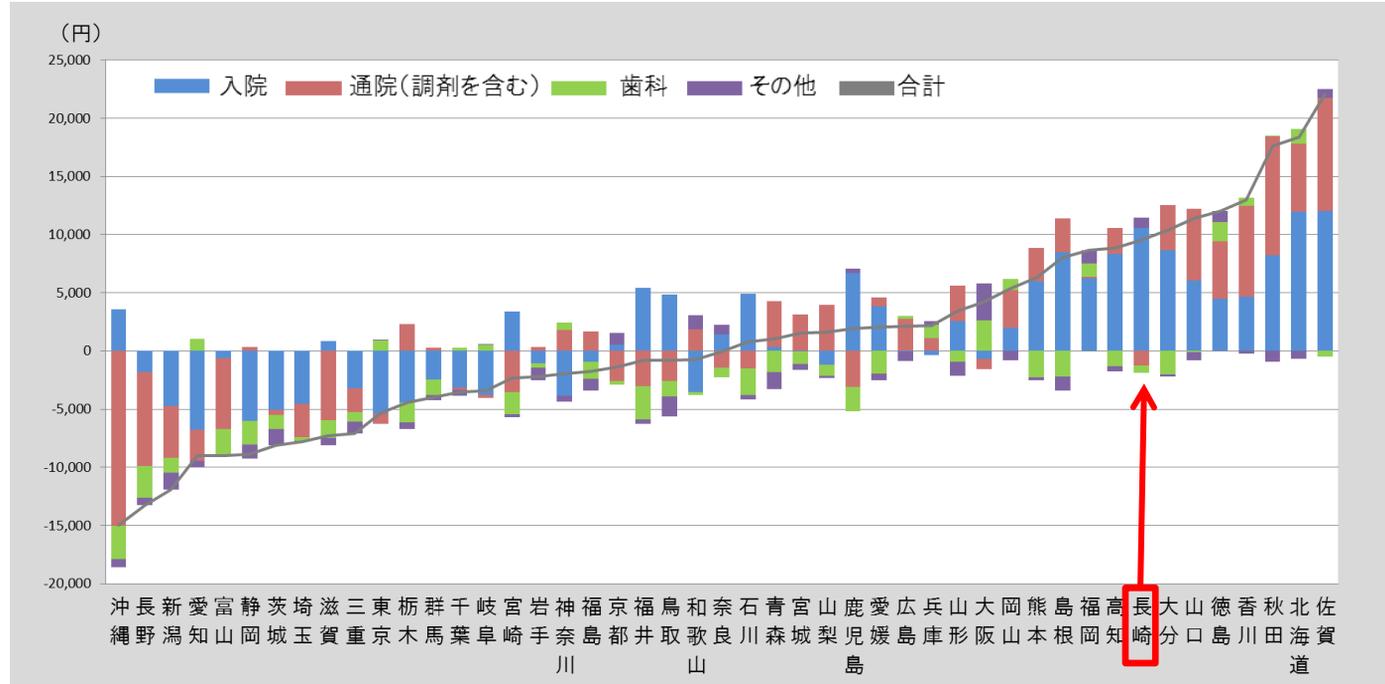
- +3.0 突出している・・・偏差値80に相当
- +2.0 ほとんどトップ・・・偏差値70に相当
- +1.0 上位6分の1・・・偏差値60に相当
- ±0.5 ほぼ平均的・・・偏差値50±5に相当
- 1.0 上位6分の1・・・偏差値40に相当
- 2.0 ほとんどトップ・・・偏差値30に相当
- 3.0 突出している・・・偏差値20に相当

例えば、男性の「収縮期血圧」や「収縮期血圧 ≥ 130 mmHg」が高めであるにも関わらず、「高血圧(割合)のうち服薬中(血圧)」が低めである場合、高血圧が医療によって十分に管理されていない可能性が示唆されます。したがって、今後の取り組みとして受診勧奨レベルの高血圧を確実に医療に繋げることが重要だと考えることができます。

全国と比較した長崎支部の医療費にかかる分析

都道府県別一人当たり医療費の全国との差(平成27年度)

長崎支部は全国と比べて入院にかかる1人当たり医療費が大幅に高く、全体の医療費も全国で8番目に高いです。



長崎支部加入者の年齢階級別疾病分類別1人当たり医療費(平成27年度)

入院では「虚血性心疾患」の1人当たり医療費が高く、外来では「高血圧性疾患」の1人当たり医療費が高いです。特に、50歳以降の「高血圧性疾患」の1人当たり医療費は全国平均よりも千円以上高くなっています。

入院

年齢階級	順位	疾病	1人当たり医療費
40～49歳	1位	良性新生物及びその他の新生物	3,966円
	2位	他の悪性新生物	2,560円
	3位	他の消化器系の疾患	2,305円
50～59歳	1位	他の悪性新生物	5,531円
	2位	虚血性心疾患	3,236円
	3位	骨折	3,172円
60～69歳	1位	他の悪性新生物	11,070円
	2位	虚血性心疾患	6,487円
	3位	骨折	5,501円
70歳以上	1位	他の悪性新生物	20,622円
	2位	他の心疾患	15,676円
	3位	骨折	13,944円

外来(調剤を含む)

年齢階級	順位	疾病	1人当たり医療費
40～49歳	1位	高血圧性疾患	6,489円
	2位	糖尿病	4,565円
	3位	腎不全	3,242円
50～59歳	1位	高血圧性疾患	21,047円
	2位	糖尿病	10,339円
	3位	腎不全	7,876円
60～69歳	1位	高血圧性疾患	40,757円
	2位	糖尿病	19,908円
	3位	腎不全	14,162円
70歳以上	1位	高血圧性疾患	67,046円
	2位	糖尿病	31,544円
	3位	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	15,335円

※平成27年度医療費基本情報より集計

長崎支部の健診結果・レセプトデータについての分析

高血圧リスク保有割合

(服用の有無は関係なく、収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上の被保険者の割合)

高血圧リスク保有割合は増加傾向にあり、平成28年度生活習慣病予防健診受診者の高血圧リスク保有割合は5.2%でした。

リスク保有割合	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
高血圧リスク	5.1%	5.1%	5.2%	5.3%	5.4%
生活習慣病予防健診	4.9%	4.9%	5.0%	5.1%	5.2%
事業者健診	7.3%	7.1%	6.9%	6.8%	6.7%

※健診受診者リスト、特定健診（事業者健診）リストより集計

高血圧リスク保有者数

(服用の有無は関係なく、収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上の被保険者の人数)

リスク保有者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
高血圧リスク	リスク該当者	4,242人	4,624人	4,953人	5,394人	5,818人
	対象者※1	83,692人	90,658人	95,508人	102,521人	107,520人
生活習慣病予防健診	リスク該当者	3,817人	3,972人	4,278人	4,570人	4,871人
	対象者※1	77,875人	81,483人	85,735人	90,321人	93,435人
事業者健診	リスク該当者	425人	652人	675人	824人	947人
	対象者※1	5,817人	9,175人	9,773人	12,200人	14,085人

※健診受診者リスト、特定健診（事業者健診）リストより集計

※1 受診者のうち、高血圧データに不備がない者

虚血性心疾患の発症率

(35歳以上の被保険者で心臓カテーテル検査と初診の両方のコードを含むレセプト割合)

平成28年度レセプト数	115件
発症者数(A)	114人
35歳以上の被保険者数(B)	196,937人
発症率(A/B)	0.06%

平成27年度レセプト数	103件
発症者数(A)	103人
35歳以上の被保険者数(B)	192,314人
発症率(A/B)	0.05%

※レセプトシステムより集計

発症者(平成28年度)の性別割合

性別割合は男性が8割を超えています。心臓疾患についての研究（フラミンガム心臓研究）でも「性別が男性」であることが危険因子のひとつだと知られています。

性別	人数	割合
男性	92人	80.7%
女性	22人	19.3%
合計	114人	100.0%

※レセプトシステムより集計

長崎支部の健診結果・レセプトデータについての分析

発症者(平成28年度)の年齢構成割合

発症者の年齢構成割合より、比較的若い年代でも発症していることがわかります。

年齢区分	人数	割合
70歳以上	8人	7.0%
65～69歳	30人	26.3%
60～64歳	26人	22.8%
55～59歳	20人	17.5%
50～54歳	11人	9.6%
45～49歳	14人	12.3%
40～44歳	2人	1.8%
35～39歳	3人	2.6%
合計	114人	100.0%

※レセプトシステムより集計

発症者(平成28年度)の健診受診状況

発症する前の年度(平成27年度)に健診を受けていない人が多く、57.9%が未受診でした。

平成27年度健診

健診受診状況	人数		割合	人数		割合
生活習慣病予防健診	41人	48人	42.1%	男性	34人	29.8%
事業者健診	7人			女性	14人	12.3%
未受診者	66人		57.9%	男性	58人	50.9%
				女性	8人	7.0%
合計	114人		100.0%	合計	114人	100.0%

※平成27年度 健診受診者リスト、特定健診(事業者健診)受診者リストより集計

平成28年度健診

健診受診状況	人数		割合	人数		割合
生活習慣病予防健診	48人	57人	50.0%	男性	43人	37.7%
事業者健診	9人			女性	14人	12.3%
未受診者	57人		50.0%	男性	49人	43.0%
				女性	8人	7.0%
合計	114人		100.0%	合計	114人	100.0%

※平成28年度 健診受診者リスト、特定健診(事業者健診)受診者リストより集計

長崎支部の健診結果・レセプトデータについての分析

発症者(平成28年度)の業種構成割合

業種	人数	割合	(参考)業態別被保険者数割合
その他の運輸業	10人	8.8%	3.3%
総合工事業	10人	8.8%	5.6%
社会保険・社会福祉・介護事業	9人	7.9%	13.7%
専門・技術サービス業	8人	7.0%	2.9%
機械器具製造業	7人	6.1%	4.7%
食料品・たばこ製造業	7人	6.1%	3.8%
職別工事業	6人	5.3%	2.5%
任意継続	6人	5.3%	
医療業・保健衛生	5人	4.4%	13.8%
飲食料品以外の小売業	5人	4.4%	2.3%
その他	41人	36.0%	44.4%
合計	114人	100.0%	100.0%

※レセプトシステムより集計

発症者(平成28年度)の平成27年度健診結果(受診者48人)

項目		人数	割合
メタボ	基準該当	10人	20.8%
	予備軍該当	5人	10.4%

項目		人数	割合
特定保健指導	積極的支援	6人	12.5%
	動機付け支援	4人	8.3%
	合計	10人	20.8%
血圧・血糖・脂質 いずれか服薬あり		19人	39.6%

項目		人数	割合
タバコ	吸う	20人	41.7%
	吸わない	28人	58.3%
	合計	48人	100.0%

項目		人数	割合
特定保健指導	受けた	2人	20.0%
	受けていない	8人	80.0%
	合計	10人	100.0%

項目		人数	割合	
タバコ(再掲)	男性	吸う	17人	50.0%
		吸わない	17人	50.0%
		合計	34人	100.0%

※男性：長崎支部平均45.8% 全国42.9%

項目		人数	割合	
タバコ(再掲)	女性	吸う	3人	21.4%
		吸わない	11人	78.6%
		合計	14人	100.0%

※女性：長崎支部平均13.8% 全国16.6%

※平成27年度 健診受診者リスト、特定健診(事業者健診)受診者リストより集計

データヘルス計画のための基本分析

長崎支部の健診結果・レセプトデータについての分析

発症者(平成28年度)の平成27年度健診結果による生活習慣病リスク(受診者48人)

項目	人数	項目	基準値	人数(*)
血圧・血糖・脂質 すべて服薬なし	29人	血圧	Ⅲ度(収縮期180以上または拡張期110以上)	0人
			Ⅱ度(収縮期160~179または拡張期100~109)	2人
			Ⅰ度(収縮期140~159または拡張期90~99)	5人
		血糖	空腹時血糖160以上	1人
			空腹時血糖126~159	0人
			空腹時血糖110~125	0人
			空腹時血糖100~109	5人
		脂質	LDL140以上	11人

項目	人数	項目	基準値	人数(*)	
血圧・血糖・脂質 いずれか服薬あり	19人	血圧服薬あり	血圧	Ⅲ度(収縮期180以上または拡張期110以上)	0人
				Ⅱ度(収縮期160~179または拡張期100~109)	1人
				Ⅰ度(収縮期140~159または拡張期90~99)	3人
		血糖服薬あり	血糖	空腹時血糖160以上	1人
				空腹時血糖126~159	2人
				空腹時血糖110~125	1人
				空腹時血糖100~109	0人
				データなし	1人
		脂質服薬あり	脂質	LDL140以上	1人

(*) 基準値の人数は重複あり

項目	人数	割合
HDL40未満	4人	8.3%

※平成27年度 健診受診者リスト、特定健診(事業者健診)受診者リストより集計

平成27年 心疾患による死亡率(人口10万人対)、死亡者数

	心疾患(高血圧性を除く)	慢性リウマチ性心疾患	急性心筋梗塞	その他の虚血性心疾患	慢性非リウマチ性心内膜疾患	心筋症	不整脈および伝導障害	心不全	その他の心疾患
長崎県(率)	189.8	3.0	46.2	16.1	11.9	4.2	33.7	71.9	2.8
死亡者数	2,599	41	632	221	163	58	461	984	39
全国順位	13位	6位	7位	40位	10位	6位	14位	15位	27位
全国(率)	156.5	1.8	29.7	27.5	8.5	3.1	24.2	57.3	4.4
死亡者数	196,113	2,313	37,222	34,451	10,656	3,831	30,300	71,860	5,480

11 ※平成27年人口動態統計より集計

協会けんぽ長崎支部の適用状況

長崎支部の事業所数は全国で26位、被保険者数は27位となっています。

項目	長崎支部	全国
事業所数	21,558	1,994,022
被保険者数	266,340	22,428,161
被扶養者数	193,023	15,643,044
加入者数	459,363	38,071,205
平均標準報酬月額	249,740円	284,285円

※協会けんぽ月報（平成29年3月分）より集計

長崎支部の事業所規模別適用状況

被保険者数10人未満事業所の加入事業所数割合は75.6%を占める一方で、被保険者50人以上事業所の加入事業所数割合は4.4%を占めます。また、被保険者数10人未満事業所の被保険者数割合は18.5%を占める一方で、被保険者数50人以上事業所の被保険者数割合は49.3%を占めます。

事業所規模 (被保険者数)	事業所数	事業所数 (割合)	被保険者数	被保険者数 (割合)	標準報酬月額の 平均(円)	被扶養者数
2人以下	8,499	39.42%	9,339	3.51%	225,980	8,241
3・4人	3,630	16.84%	12,481	4.69%	243,712	9,735
5～9人	4,179	19.38%	27,477	10.32%	256,553	21,367
10～19人	2,592	12.02%	34,736	13.04%	254,223	25,928
20～29人	960	4.45%	22,904	8.60%	249,283	16,605
30～49人	746	3.46%	28,017	10.52%	248,650	20,286
50～99人	564	2.62%	38,597	14.49%	244,173	27,784
100～299人	314	1.46%	50,021	18.78%	247,227	33,659
300～499人	53	0.25%	19,768	7.42%	268,478	13,085
500～999人	16	0.07%	11,591	4.35%	256,389	8,786
1,000人以上	5	0.02%	7,752	2.91%	255,745	4,328
任意継続			3,657	1.37%	206,442	3,219
合計	21,558	100.00%	266,340	100.00%	249,740	193,023

※協会けんぽ月報（平成29年3月分）より集計

協会けんぽ長崎支部の適用状況

長崎支部の業態別、規模別適用状況

※被保険者数順

事業所規模 (被保険者数)	事業所数	事業所数 (割合)	被保険者数	被保険者数 (割合)	標準報酬月額 の平均 (円)	被扶養者数
医療業・保健衛生	1,550	7.19%	36,221	13.79%	269,263	18,073
社会保険・社会福祉・介護事業	1,562	7.25%	35,980	13.70%	211,042	16,998
総合工事業	1,881	8.73%	14,753	5.62%	273,324	15,208
卸売業	1,303	6.04%	14,542	5.54%	271,144	13,253
飲食品以外の小売業	1,885	8.74%	13,969	5.32%	252,867	9,878
機械器具製造業	510	2.37%	12,377	4.71%	287,806	11,950
食料品・たばこ製造業	539	2.50%	10,070	3.83%	219,633	6,353
その他の運輸業	315	1.46%	8,569	3.26%	234,116	7,175
道路貨物運送業	365	1.69%	7,841	2.98%	278,397	8,224
公務	261	1.21%	7,748	2.95%	175,900	2,808
専門・技術サービス業	1,188	5.51%	7,725	2.94%	289,285	6,324
設備工事業	921	4.27%	7,316	2.79%	283,480	7,813
職別工事業	1,092	5.07%	6,502	2.48%	279,868	6,846
複合サービス業	231	1.07%	6,328	2.41%	241,653	5,176
飲食品小売業	637	2.95%	5,252	2.00%	220,456	3,439
娯楽業	171	0.79%	4,909	1.87%	246,015	3,328
飲食店	626	2.90%	4,782	1.82%	230,655	3,324
その他の対事業所サービス業	269	1.25%	4,643	1.77%	208,693	2,909
教育・学習支援業	340	1.58%	4,225	1.61%	234,365	1,826
金属工業	229	1.06%	4,192	1.60%	290,769	4,023
農林水産業	492	2.28%	4,040	1.54%	247,403	3,419
対個人サービス業	421	1.95%	4,032	1.53%	245,938	2,715
修理業	586	2.72%	3,804	1.45%	267,746	3,887
宿泊業	216	1.00%	3,606	1.37%	219,130	2,040
情報通信業	261	1.21%	3,018	1.15%	286,531	2,494
繊維製品製造業	101	0.47%	2,859	1.09%	175,619	1,152
その他の製造業	234	1.09%	2,838	1.08%	273,354	2,702
不動産業	1,188	5.51%	2,824	1.08%	267,508	1,904
政治・経済・文化団体	512	2.37%	2,616	1.00%	227,542	1,564
その他のサービス業	359	1.67%	2,530	0.96%	242,713	1,793
廃棄物処理業	226	1.05%	2,329	0.89%	277,854	2,538
金融・保険業	246	1.14%	2,067	0.79%	301,581	1,857
化学工業・同類似業	154	0.71%	1,705	0.65%	242,449	1,408
電気・ガス・熱供給・水道業	161	0.75%	1,331	0.51%	285,310	1,333
印刷・同関連産業	110	0.51%	1,076	0.41%	250,491	826
職業紹介・労働者派遣業	48	0.22%	910	0.35%	206,712	502
木製品・家具等製造業	109	0.51%	775	0.30%	255,265	710
鉱業・採石業・砂利採取業	51	0.24%	708	0.27%	278,059	699
物品賃貸業	71	0.33%	655	0.25%	289,692	582
無店舗小売業	97	0.45%	517	0.20%	279,520	412
紙製品製造業	18	0.08%	317	0.12%	247,659	259
学術研究機関	22	0.10%	182	0.07%	225,022	80

協会けんぽ長崎支部の適用状況

長崎支部の年齢階級別加入状況

特定健診の対象となる40歳以上の加入者数割合は48.5%で、加入者全体のほぼ半数を占めています。

年齢階級	被保険者	被扶養者	合計	割合
0～9歳	0	52,299	52,299	11.39%
10～19歳	1,819	55,299	57,118	12.43%
20～29歳	37,918	19,271	57,189	12.45%
30～39歳	55,963	13,909	69,872	15.21%
40～49歳	63,864	14,105	77,969	16.97%
50～59歳	60,365	15,600	75,965	16.54%
60～69歳	42,123	18,624	60,747	13.22%
70歳～	4,288	3,916	8,204	1.79%
合計	266,340	193,023	459,363	100.00%

※協会けんぽ月報（平成29年3月分）より集計

長崎支部の年齢5歳階級別加入状況

生活習慣病予防健診の対象となる35歳以上の被保険者は平均196,937人（74.3%）となっています。

※平成28年度平均

年齢階級	被保険者	被扶養者	合計	割合
0～4歳	0	25,391	25,391	5.55%
5～9歳	0	26,795	26,795	5.86%
10～14歳	0	27,289	27,289	5.97%
15～19歳	2,470	27,436	29,906	6.54%
20～24歳	16,181	12,936	29,117	6.37%
25～29歳	22,809	5,786	28,595	6.25%
30～34歳	26,730	6,874	33,603	7.35%
35～39歳	29,264	7,157	36,421	7.96%
40～44歳	32,662	7,513	40,175	8.78%
45～49歳	30,452	6,809	37,261	8.15%
50～54歳	28,724	7,135	35,858	7.84%
55～59歳	31,107	8,817	39,924	8.73%
60～64歳	26,374	10,211	36,585	8.00%
65～69歳	14,461	8,329	22,789	4.98%
70歳以上	3,894	3,756	7,650	1.67%
合計	265,126	192,233	457,360	100.00%

※郵便番号別加入者基本情報（平成28年度）より集計

保険者の体制等

長崎県の医療保険者別の加入者数

医療保険者名	加入者数	割合
協会けんぽ	460,053	40.21%
国保	379,836	33.20%
後期高齢者広域連合	214,786	18.77%
市町村共済	31,028	2.71%
公立学校共済	27,080	2.37%
地方職員共済	13,408	1.17%
健保組合	9,115	0.80%
警察共済	8,909	0.78%
合計	1,144,215	100.00%

※長崎県保険者協議会 事業経費 負担割合（平成29年4月末）より集計

二次医療圏別加入者数(他支部加入者も含む)

長崎県には4つの本土医療圏と4つの離島医療圏があり、日本で最も多くの離島医療圏を抱えています。離島医療圏（五島、上五島、壱岐、対馬）に占める協会けんぽの居住地別加入者数の割合は約7.1%です。

二次医療圏名	被保険者	被扶養者	合計	割合
長崎	107,432	76,724	184,156	37.82%
佐世保県北	68,825	48,608	117,433	24.12%
県央	58,670	43,745	102,415	21.04%
県南	28,286	20,092	48,378	9.94%
五島	6,369	4,501	10,870	2.23%
上五島	3,199	2,353	5,551	1.14%
壱岐	4,971	4,279	9,250	1.90%
対馬	5,003	3,810	8,812	1.81%
合計	282,753	204,112	486,865	100.00%

※居住地別加入者基本情報（平成28年度）より集計

医療提供体制

長崎県の人口10万人対病院数、一般診療所数、病床数、医師数はすべて全国平均を上回っており、医療資源に非常に恵まれていることがわかります。

都道府県名	病院数 (軒)	人口10万人対 病院数 (軒/10万人)	一般診療所数 (軒)	人口10万人対 一般診療所数 (軒/10万人)	病院病床数 (床)	人口10万人対 病院病床数 (床/10万人)	一般診療所 病床数 (床)	人口10万人対 一般診療所 病床数 (床/10万人)	平均在院日数 (日)	医師数 (人)	人口10万人対 医師数 (人/10万人)
長崎県	154	11.2	1,400	101.7	26,599	1,931.4	4,066	295.2	37.4	4,170	300.9
全国	8,480	6.7	100,995	79.5	1,565,968	1,232.1	107,626	84.7	29.1	311,205	244.9

※平成27年 厚生労働省「医療施設調査・病院報告」、平成26年「医師・歯科医師・薬剤師調査」より集計

